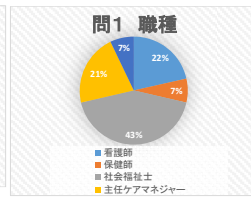
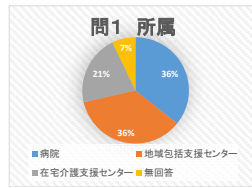


# 病院関係者と地域包括支援センター・在宅介護支援センターとの意見交換会アンケート 集計結果

開催日：令和3年2月17日

## 問1 回答者所属 n=14

項目	人数
病院	5人
地域包括支援センター	5人
在宅介護支援センター	3人
無回答	1人

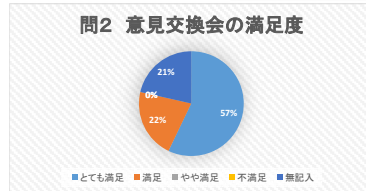


## 問1-1 回答者職種 n=14

項目	人数
看護師	3人
保健師	1人
社会福祉士	6人
主任ケアマネジャー	3人
その他	1人

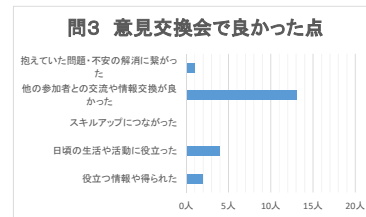
## 問2 意見交換会の内容全般についての満足度 n=14

項目	人数
とても満足	8人
満足	3人
やや満足	0人
不満足	0人
無記入	3人



## 問3 意見交換会で良かった点は何か(複数回答可)

項目	人数
役立つ情報や得られた	2人
日頃の生活や活動に役立った	4人
スキルアップにつながった	0人
他の参加者との交流や情報交換が良かった	13人
抱えていた問題・不安の解消に繋がった	1人

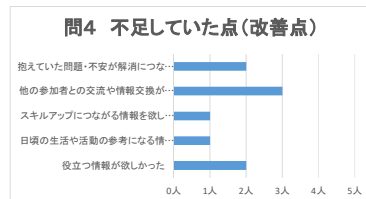


## 良かった点(具体的)

病院との連携時にMSW、退院調整看護師の状況・事情を聞くことができた。  
関係者と直接話げできたことは、次に連携をするときのスムーズさになったと思う。  
他職種の方と意見交換できたのが良かった。  
地域包括の方から病院で完結できない問題も引き継ぎ対応しますと言って頂き安心した。  
地区でグループ分けをしていた点  
病院にSW、退院調整Nsのおかげで、在宅生活に切れ目なくつなげることができた、という意見があり、情報共有の大切さが理解できた。  
ZOOMでの話し合いで不安もありましたが、スムーズにできたと思います。  
コロナ禍で顔を合わせることが難しいなか、こういった場を作って頂けて良かったです。  
今回、メンバーだった方々の職種、退院調整看護師・MSW・支援センターであった。同じ職種とは言え職種が異なるために目線が違う。いろいろな質問や悩み事の解決にもなったと思われる。  
圏域グループでの話し合い、つながりやすさを感じ良かった。  
病院内でのドクターとMSWの関係性など、個別性も高い状況下で、地域の現場で限られた情報の中で急ぎ受診を要するケースへの対応や、お互いが置かれている立場を理解しながら、グループワークが和やかな雰囲気の中で意見交換することができ、とてもよかったです。  
日々限られた環境での業務なので、他の職種の方との情報交換させていただき勉強になりました。

## 問4 意見交換会で不足していた点(改善すべき点)は何ですか(複数回答可)

項目	人数
役立つ情報が欲しかった	2人
日頃の生活や活動の参考になる情報が欲しかった	1人
スキルアップにつながる情報を欲しかった	1人
他の参加者との交流や情報交換が良かった	3人
抱えていた問題・不安が解消につながる情報が欲しかった	2人



## 改善点(具体的)

1カ所の医療機関だけでなく、複数の機関と話したい。  
アンケート結果を掘り下げて協議できたらよかった。  
連携と一言で言いますが、人によって連携のとらえ方が異なる。今回の話し合いでももう少し話し内容に関し焦点をあてていった方が良い意見交換に結びつくかと思う。  
在宅介護支援センターとしての対応件数としての情報提供や共有は難しい面があると感じた。(委託包括が増えたため)  
行政としてできることをもう少し具体的に知れたら良いと思いました。  
いつも圏域ごとに分けられてしまうので、他の圏域の方とも話してみたい。  
不足していたとは思えない。  
特別改善してほしい等の要望はありません。  
特にありません。

## 問5 意見交換会終了後に自分自身が実践できそうだと考えている取り組みを記載

各々の役割をしっかりと認識したうえで相談連携をしていく。情報をもらうだけでなく、地域情報等を伝えられるように情報収集をして連携の質を上げていくようにする。  
入退院時だけでなく、療養中もマメに情報交換してみます。入院している本人とも直接会う・話す機会をもっと増やします。  
地域の研修等の積極的参加。(意見交換の機会)  
地域包括へ連携がしやすくなった。退院後サポート体制が定まっていない方、高齢世代の方は対応をお願いしたいと思う。  
日頃の小さな情報交換、相談  
自分が考えているよりも連携ができていたとの意見があった。情報提供や共有依頼があった時には対応していこうと思った。  
病院内になかなか入れない状況のため、オンラインの対応はまだ普及が追いつかないため、今できる状況での連携を上手におこなう必要がある各職種がそれぞれの悩み、不便を感じていることが分かった。それぞれの不便を補うことで、質の良いサポートが出来るのでは。  
地域包括との連携は、これからも実践していきたい。  
他機関との連携のはかり方について、もっと自分から連絡をとっていけるんだと考えています。  
お互いの置かれている立場の理解に努めつつ、協働できる関係性を作れるよう、日々の相談実践の中で心がけ対応していくこと。  
日頃なかなか在宅に向けての支援が少ないことから皆さんとの情報交換にお役に立てず申し訳ございませんでした。

## 問6 その他、オンライン開催、連携等に関するご意見を自由記載

このような機会を定期的(例:1回/年)に開催していただくことで情報交換や顔の見える関係づくりを行い、ネットワーク構築につながればと思います  
音声も聞き取れ、スムーズな会議でした。  
オンラインは声が聞きづらい。やっぱり集まりたい。  
この度はありがとうございました。  
今回のオンライン会議、課題もきちんとしていたし、有意義な時間であった。また機会があったら参加したいです。  
今回のように少人数、圏域話し合いには有効でした。  
オンラインでの開催でしたが、十分意見交換も可能でしたし、これからはオンライン研修が充実していくことを願っています。このような機会を企画実施していただいた市地域包括支援課のスタッフの方々に心より感謝申し上げます。  
自分の職場での環境なので電話や来客等どうしても院内の情報が耳に入ってしまう、集中できない部分がありました。(オンラインが初めてでしたので環境を整えなければと思いました)